

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月14日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 あみやき亭
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 啓介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 千々和 康
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 0568-32-8800

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	11,537	—	959	—	1,010	—	478	—
20年3月期第3四半期	10,738	7.1	1,178	11.1	1,220	12.3	692	14.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	6,983.60	—
20年3月期第3四半期	10,111.09	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	10,942	—	9,491	—	86.7	—	138,587.56	—
20年3月期	11,060	—	9,200	—	83.2	—	134,338.31	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 9,491百万円 20年3月期 9,200百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
21年3月期	—	1,250.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1,250.00	2,500.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,531	8.0	1,277	△17.2	1,339	△16.3	630	△30.1	9,198.69

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 68,488株 20年3月期 68,488株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 68,488株 20年3月期第3四半期 68,488株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

(2)当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計会計期間におけるわが国経済は、米国の金融市場の混乱に端を発した世界的な景気後退、金融危機などの影響を受け、株式市場の大幅な変動や信用収縮、企業収益の減少や雇用情勢の急速な悪化など、極めて厳しい状況となりました。

当業界におきましては、景気後退および先行き不安感から生活防衛意識の高まりによる外食への支出を控える傾向が強まりつつある中で、12月の忘年会シーズンの需要が減少するなど依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社では、焼肉部門におきましては、「安心・安全」な国産牛肉を食肉の知識とカット技術を駆使し、さらなる商品の品質向上に努め、お客様にとって価値のある、満足度の高い商品として提供するとともに、「お客様大感謝祭」等積極的な販促活動を展開いたしました。

焼鳥部門におきまして、焼き師認定制度を導入し、炭火で1本1本手焼きする「焼き」の技術向上と「美味しい・安い」焼鳥の提供に努めるとともに、女性・ファミリー層をターゲットとした「釜めし祭」等の販促活動を展開いたしました。

また、店舗運営力向上策といたしまして、引き続き接客・サービスのレベル向上に向けた社員教育の取り組みを行ってまいりました。

店舗数につきましては、あみやき亭6店舗（西尾店、伊勢店、扶桑店、安城箕輪店、畑江通店、練馬関町店）、美濃路1店舗（稲沢店）を新規に出店し、総店舗数は、129店舗（あみやき亭83店舗、美濃路46店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高 11,537百万円（前期比 7.4%増）、営業利益 959百万円（前期比 18.5%減）、経常利益 1,010百万円（前期比 17.2%減）、四半期純利益 478百万円（前期比 30.9%減）となりました。

なお、「前年同期比増減率」につきましては、参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産負債の増減

当第3四半期末の総資産額は、10,942百万円となり、前事業年度末と比較して 118百万円減少いたしました。

主な要因は、現金預金の減少によるものであります。

負債総額は、1,450百万円となり、前事業年度末と比較し、409百万円減少いたしました。

主な要因は、未払法人税等の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金および現金同等物（以下「資産」という）は、332百万円減少し、当第3四半期末には、1,359百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、659百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益が 872百万円計上されたこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は 813百万円となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が 752百万円あったこと等を反映したものであり

ます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は 177百万円となりました。

これは、配当金の支払額が 177百万円あったこと等を反映したものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年10月6日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費は、定率法を採用している資産について、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更に伴う当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,238	5,150
有価証券	1,500	—
商品	29	23
製品	6	1
原材料	29	15
前払費用	123	106
繰延税金資産	31	72
その他	175	71
流動資産合計	5,134	5,441
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,603	3,520
構築物（純額）	351	344
機械及び装置（純額）	171	182
車両運搬具（純額）	12	2
工具、器具及び備品（純額）	208	220
土地	121	121
建設仮勘定	45	33
有形固定資産合計	4,514	4,424
無形固定資産	45	40
投資その他の資産		
投資有価証券	11	8
長期貸付金	233	246
長期前払費用	189	200
繰延税金資産	98	36
差入保証金	570	545
保険積立金	144	115
投資その他の資産合計	1,247	1,153
固定資産合計	5,807	5,618
資産合計	10,942	11,060

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	534	506
未払金及び未払費用	639	709
未払法人税等	72	408
未払消費税等	64	80
預り金	61	38
引当金	51	71
前受収益	—	18
その他	25	25
流動負債合計	1,450	1,860
負債合計	1,450	1,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	4,591	4,301
株主資本合計	9,491	9,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
評価・換算差額等合計	△0	△1
純資産合計	9,491	9,200
負債純資産合計	10,942	11,060

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	11,537
売上原価	4,366
売上総利益	7,171
販売費及び一般管理費	6,211
営業利益	959
営業外収益	
受取利息及び配当金	26
協賛金収入	13
違約金収入	9
雑収入	1
営業外収益合計	50
経常利益	1,010
特別利益	
受取保険金	16
特別利益合計	16
特別損失	
前期損益修正損	14
固定資産除却損	19
減損損失	120
特別損失合計	154
税引前四半期純利益	872
法人税、住民税及び事業税	415
法人税等調整額	△21
法人税等合計	394
四半期純利益	478

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	872
減価償却費	442
引当金の増減額 (△は減少)	△19
有形固定資産除却損	19
減損損失	120
受取利息及び受取配当金	△26
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△30
仕入債務の増減額 (△は減少)	27
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	23
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	3
その他	△6
小計	1,384
利息及び配当金の受取額	16
法人税等の支払額	△742
営業活動によるキャッシュ・フロー	659
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△1,500
定期預金の預入による支出	△1,000
定期預金の払戻による収入	2,500
有形固定資産の取得による支出	△752
無形固定資産の取得による支出	△8
投資有価証券の取得による支出	△1
差入保証金の差入による支出	△25
貸付金の回収による収入	13
その他	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△813
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△332
現金及び現金同等物の期首残高	1,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,359

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期損益計算書

科目	前第3四半期累計期間 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	10,738
II 売上原価	3,977
売上総利益	6,760
III 販売費及び一般管理費	5,582
営業利益	1,178
IV 営業外収益	45
V 営業外費用	3
経常利益	1,220
VI 特別利益	40
VII 特別損失	18
税引前四半期純利益	1,242
法人税、住民税及び事業税	508
法人税等調整額	41
四半期純利益	692

6. その他の情報

該当事項はありません。